



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社  
 コード番号 6298 URL <https://www.yac.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務統括本部長 (氏名) 畠山 督 TEL 042-546-1161  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,706	8.6	271	—	283	—	97	—
2020年3月期第3四半期	16,304	△38.9	△630	—	△707	—	△1,602	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 103百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △1,680百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	10.78	10.69
2020年3月期第3四半期	△177.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	39,696	13,836	34.7
2020年3月期	39,135	14,065	35.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,784百万円 2020年3月期 13,818百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	23.2	800	—	700	—	500	—	55.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	9,758,947株	2020年3月期	9,758,947株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	672,204株	2020年3月期	702,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	9,071,912株	2020年3月期3Q	9,034,573株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国の経済対策により総じて緩やかに持ち直しつつありましたが、一方で新型コロナウイルス感染症の更なる拡大・長期化も懸念され、先行きについては依然不透明な状況が続いております。

半導体業界においては、スマートフォンなどのコンシューマ製品や車載機器、産業機器で減少がありましたが、テレワークや巣ごもり需要の増大でデータトラフィック量が爆発的に増加し、データセンタ関連需要が急増しました。また人々の行動様式の変化にともない、働き方や製造現場、購買行動、教育・医療にも変革が求められ、5GやAI、IoT、自動運転などへの期待が高まり設備投資が堅調に推移しました。一方、FPD業界は中国での生産状況が回復へ向かうのに相反し、個人の収入及び資産の減少、企業の売上減少によって消費が冷え込み、世界的に減速しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、刻々と変化する顧客ニーズを捉えた装置の開発と販売に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高177億6百万円（前年同四半期比8.6%増）、営業利益2億71百万円（前年同四半期は営業損失6億30百万円）、経常利益2億83百万円（前年同四半期は経常損失7億7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益97百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失16億2百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (メカトロニクス関連事業)

データセンタ及びパワー半導体への堅調な需要により、HDD製造向けバニッシャー、パワーデバイス向けレーザーアニーラが、また5G等の電子部品向けテーピング装置及び自動機が好調に推移し増収増益となりました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は69億27百万円（前年同四半期比20.6%増）となり、セグメント利益は1億96百万円（前年同四半期はセグメント損失8百万円）となりました。

#### (ディスプレイ関連事業)

主な市場である中国の経済活動が再開し前期受注分の売上が計上され増収となりましたが、本格的な回復には至らず固定費等を吸収できず引き続き損失となりました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は58億25百万円（同36.8%増）となり、セグメント損失は1億44百万円（前年同四半期はセグメント損失7億20百万円）となりました。

#### (産業機器関連事業)

国内クリーニング市場は営業自粛や在宅勤務化の影響を大きく受け、また中国市場も立ち直りが見えず、減収減益となりました。

これらの結果、産業機器関連事業の売上高は5億88百万円（同51.5%減）となり、セグメント損失は1億21百万円（前年同四半期はセグメント損失99百万円）となりました。

#### (電子機器関連事業)

電力会社向け制御通信機器及び人工透析装置は引き続き安定的に推移し、減収ではありましたが増益となりました。

これらの結果、電子機器関連事業の売上高は43億72百万円（同14.1%減）となり、セグメント利益は1億67百万円（同83.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は312億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億36百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金61億16百万円増加であり、主な減少要因は受取手形及び売掛金37億70百万円、仕掛品15億75百万円であります。固定資産は84億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少しました。その結果、総資産は396億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億61百万円の増加となりました。

#### (負債)

流動負債は183億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億21百万円増加しました。主な増加要因は短期借入金28億46百万円であり、主な減少要因は支払手形及び買掛金12億36百万円、前受金4億14百万円、1年内償還予定の社債3億円であります。固定負債は74億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少しました。主な増加要因は社債3億円であり、主な減少要因は長期借入金3億5百万円、事業整理損失引当金99百万円であります。その結果、負債は258億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億90百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は138億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億28百万円減少しました。その結果、自己資本比率は34.7%となり、1株当たり純資産は1,517円00銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想(通期)につきましては、2020年11月13日に公表しました通期連結業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,531	12,647
受取手形及び売掛金	12,469	8,699
有価証券	0	0
商品及び製品	1,073	1,190
仕掛品	8,341	6,766
原材料及び貯蔵品	1,423	1,429
その他	859	620
貸倒引当金	△148	△65
流動資産合計	30,552	31,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,165	5,031
減価償却累計額	△3,206	△3,147
建物及び構築物(純額)	1,959	1,883
機械装置及び運搬具	2,202	2,376
減価償却累計額	△1,739	△1,842
機械装置及び運搬具(純額)	462	534
工具、器具及び備品	3,483	3,530
減価償却累計額	△3,067	△3,154
工具、器具及び備品(純額)	415	376
土地	3,610	3,597
リース資産	264	300
減価償却累計額	△111	△133
リース資産(純額)	153	166
建設仮勘定	157	193
有形固定資産合計	6,759	6,751
無形固定資産		
のれん	299	209
ソフトウェア	80	66
リース資産	44	33
電話加入権	20	20
その他	5	12
無形固定資産合計	450	342
投資その他の資産		
投資有価証券	393	425
長期貸付金	1	0
繰延税金資産	781	698
長期滞留債権等	188	188
その他	221	214
貸倒引当金	△213	△213
投資その他の資産合計	1,373	1,314
固定資産合計	8,583	8,408
資産合計	39,135	39,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,754	4,518
短期借入金	8,322	11,169
リース債務	66	64
未払法人税等	—	98
賞与引当金	363	202
製品保証引当金	82	49
未払費用	404	384
前受金	1,603	1,188
1年内償還予定の社債	700	400
その他	148	292
流動負債合計	17,446	18,368
固定負債		
社債	—	300
長期借入金	5,439	5,133
長期末払金	81	77
リース債務	158	159
繰延税金負債	96	89
退職給付に係る負債	1,160	1,161
資産除去債務	63	49
事業整理損失引当金	592	492
その他	30	28
固定負債合計	7,623	7,492
負債合計	25,070	25,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	3,635	3,637
利益剰余金	8,296	8,213
自己株式	△600	△574
株主資本合計	14,132	14,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	△10
為替換算調整勘定	△298	△292
退職給付に係る調整累計額	11	10
その他の包括利益累計額合計	△314	△292
新株予約権	51	51
非支配株主持分	195	—
純資産合計	14,065	13,836
負債純資産合計	39,135	39,696

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	16,304	17,706
売上原価	13,441	14,177
売上総利益	2,862	3,529
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	1,321	1,375
賞与引当金繰入額	51	24
福利厚生費	53	53
賃借料	142	146
業務委託費	113	81
研究開発費	369	331
減価償却費	144	132
その他	1,297	1,113
販売費及び一般管理費合計	3,493	3,258
営業利益又は営業損失(△)	△630	271
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	22	39
受取賃貸料	10	12
補助金収入	2	74
その他	46	33
営業外収益合計	90	169
営業外費用		
支払利息	64	74
為替差損	52	39
その他	51	43
営業外費用合計	168	157
経常利益又は経常損失(△)	△707	283
特別利益		
固定資産売却益	0	43
投資有価証券売却益	36	—
その他	0	7
特別利益合計	37	50
特別損失		
固定資産除売却損	2	23
子会社清算損	20	—
事業構造改善費用	18	13
事業整理損	699	—
その他	4	0
特別損失合計	744	36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,415	297
法人税、住民税及び事業税	60	148
法人税等調整額	145	68
法人税等合計	205	216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,620	81
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,602	97



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,620	81
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	17
為替換算調整勘定	△33	6
退職給付に係る調整額	2	△1
その他の包括利益合計	△59	22
四半期包括利益	△1,680	103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,662	119
非支配株主に係る四半期包括利益	△18	△16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	5,744	4,259	1,212	5,087	16,304	—	16,304
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	3	—	4	9	△9	—
計	5,745	4,262	1,212	5,091	16,313	△9	16,304
セグメント利益 又は損失(△)	△8	△720	△99	91	△737	107	△630

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額107百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等652百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△545百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	6,927	5,820	588	4,369	17,706	—	17,706
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4	—	2	7	△7	—
計	6,927	5,825	588	4,372	17,714	△7	17,706
セグメント利益 又は損失(△)	196	△144	△121	167	97	173	271

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額173百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等684百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△510百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。